

令和7年度

小鴨コミュニティセンター運営方針・事業

〈小鴨コミュニティセンターの役割〉

私たち小鴨コミュニティセンターの役割を大きく三つに分けると、「1.学習機会を提供すること。」「2.地区の人たちが集い仲間づくりや暮らし方について共に語り考えていく機会を提供すること。」「3.よりよい地域づくりを支援していくこと。」です。小鴨コミュニティセンターにおけるコミュニティセンター活動の基本はこの〈まなぶ〉〈つどう〉〈ささえあう〉です。

〈まなぶ〉は、一人ひとりの“いつでも・どこでも・だれでも”といわれる学習を保障していくことです。小鴨コミュニティセンターでは、健康、歴史、文化、芸術、スポーツ、グループ活動など、暮らしが豊かになっていく学びの機会を提供していきます。

〈つどう〉は、世代を超えて交流する仲間づくりをすすめ、コミュニケーションの向上や地域課題の解決へとつなげていきます。

〈ささえあう〉は〈まなび〉や〈つどい〉によって生まれた想いや願いを基に、地域の諸課題に対して更によりよくしていこうという地域づくり、助け合いの気持ちを共有しながら、支え合いにつなげていくものです。小鴨コミュニティセンターはこのような役割を担って、地域の皆さんの〈まなぶ〉〈つどう〉〈ささえあう〉機会の提供と支援をすすめていきます。

〈基本方針〉

“笑顔あふれるまちづくり おがも”

“ま な ぶ”：一人ひとりの暮らしが豊かになり（自立と自己実現づくり）

“つ ど う”：みんなの心が響きあい（交流と共感づくり）

“ささえあう”：ともに支えあう地域社会づくり（協働と共生の実感づくり）

を目指し、地域から求められるコミュニティセンター活動に取り組みます。

〈重点目標〉

I まなぶコミュニティセンター活動

- ・文化・知識・教養の向上を図り、暮らしを豊かにする学習を提供します。
- ・スポーツをする楽しさが暮らしの中に根づくように努めます。
- ・心と体の健康を管理し、保持・増進に向けての学習の機会を提供します。
- ・学習サークル、グループ活動の支援と育成に努めます。
- ・図書館、博物館などと連携して多様な内容の学習を提供します。

II つどうコミュニティセンター活動

- ・地域の人たちがつどい、仲間づくりがすすむように努めます。
- ・つどいの中に学びを取り入れ、学習が深まるように努めます。
- ・集団活動から地域活動へとつながるよう支援します。

- ・地域の歴史、伝統、文化を継承し、誇りを創造する学習、活動を進めます。
- ・家庭教育に役立つ学習の機会を提供します。

Ⅲ ささえあうコミュニティセンター活動

- ・交流の機会をつくることにより地域の人たちのつながりを深め、地域づくりに進展するよう支援します。
- ・地域の人たちが学校教育（保育園・小学校・中学校・養護学校）に参加し、子どもたちを支援できるように努めます。
- ・コミュニティセンターと人権文化センター協同により、同和教育、人権教育の学習と実践に取り組み、人権が守られ、差別を許さない地域づくりを進めます。
- ・子どもから高齢者にいたるさまざまな課題について、共生の実感がつくられていくよう学習や啓発活動に努めます。
- ・日常生活や災害に対し安心で安全な地域づくりを支援します。
- ・互助・共助に基づく地域づくりを支援します。
- ・自治公民館、自治公民館協議会、地区振興協議会、各種目的団体などの活動を支援し、共同して地域づくり事業の推進にあたります。

〈今年度の重点テーマ〉

- ・保護者を対象に関係機関と連携して仲間づくりの支援をします。
- ・青年層の地域活動への参加・参画する機会を増やし、自らが活動できるよう支援します。
- ・自主防災の意識を高めるとともに、地区・町区で災害発生時に、お互いに助け合い支え合う仲間づくりと防災への具体的なシステムづくりを進めます。
- ・小鴨まるごと会議の地域福祉活動を通じて地域住民の問題解決への支援をします。
- ・共助交通（コミュニティ・カーシェアリング）の活動支援をします。
- ・子ども（保育園・小・中学生・高校生）や保護者たちと地域の人たちが交流する場を提供します。

〈今年度重点事業〉

- ① 保護者を対象に仲間づくりにつながる事業を開催します。
 - ・就学前の保護者と子どもの仲間づくり
 - ・子育てママ講座
- ② 中高生を対象に地域で活動できる機会を増やし、自らが活動できるよう支援します。
 - ・中高生の地域活動
 - ・中高生ボランティア活動
- ③ 30代から40代対象に地域で活動する事業を開催します。
 - ・倉吉市重点取組事業（3年目） コワラ（小鴨を笑顔にする会）